

※13.15.16.17.18号地は必ず北側から引込線をとれるような位置に受電点を設けてもらう必要があります。
 NTT柱4本、電力柱4本 新設(R3.3.1現地協議済み)(NTT柱、電力柱、先行建柱します)
 ※分譲地完成予定は7月中旬の為、分譲地完成する所に現地で詳細な建柱位置を決める必要があります。
 電柱建柱箇所、支線取付箇所付近の埋設管は1.0m程度支障とならない位置に移動させてください。
 ※電線の数量・種類に関しては、電気の申込みに伴い変わります。

開発許可
年 月 日

第 令和
年
月
号 日

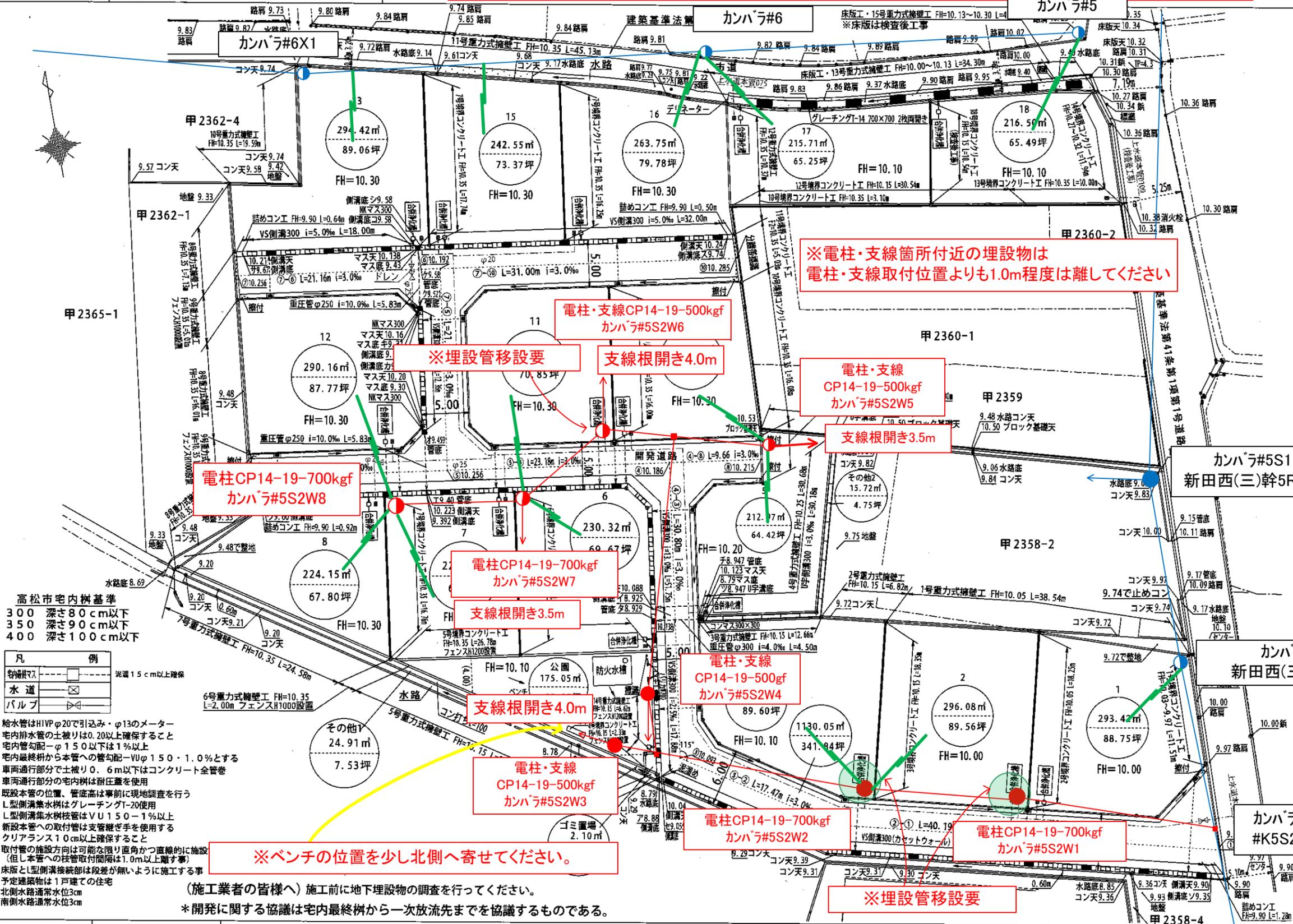
申請者

代表取締役
増元 竜彦
(株)ロータリーハウス

作成者

行政書士 石井 正志
高松市春日町1643番地9

土地の所在
高松市新田町字窪
甲2358-1, 甲2361, 甲2362-3, 甲2363,
甲2374-1及び地先水路



※電柱・支線箇所付近の埋設物は
電柱・支線取付位置よりも1.0m程度は離してください

※埋設管移設要

支線根開き4.0m

電柱・支線
CP14-19-500kgf
カンバラ#5S2W5

支線根開き3.5m

電柱CP14-19-700kgf
カンバラ#5S2W8

電柱CP14-19-700kgf
カンバラ#5S2W7

支線根開き3.5m

電柱・支線
CP14-19-500kgf
カンバラ#5S2W4

支線根開き4.0m

電柱・支線
CP14-19-500kgf
カンバラ#5S2W3

電柱CP14-19-700kgf
カンバラ#5S2W2

電柱CP14-19-700kgf
カンバラ#5S2W1

※ベンチの位置を少し北側へ寄せてください。

※埋設管移設要

(施工業者の皆様へ) 施工前に地下埋設物の調査を行ってください。
 *開発に関する協議は宅内最終枦から一次放流先までを協議するものである。

高松市宅内枦基準
 300 深さ80cm以下
 350 深さ90cm以下
 400 深さ100cm以下

凡	例
砂利	※道15cm以上確保
水道	
バルブ	

給水管はH1VPφ20で引込み・φ13のメーター
 宅内排水の土被りは0.20以上確保すること
 宅内管勾配φ150以下は1%以上
 宅内最終枦から本管への管勾配φ150・1.0%とする
 車両通行部分で土被り0.6m以下はコンクリート全管巻
 車両通行部分の宅内枦は耐圧蓋を使用
 既設本管の位置、管底高は事前に現地調査を行う
 L型側溝排水枦はグレーチングT-20使用
 L型側溝排水枦枝管はVU150・1%以上
 新設本管への取付管は支管継ぎ手を使用する
 クリアランス10cm以上確保すること
 取付管の施設方向は可能な限り直角かつ直線的に施設
 (但し本管への枝管取付間隔は1.0m以上確保)
 床版とL型側溝接続部は段差が無いように施工する事
 予定建築物は1戸建ての住宅
 北側水路通常水位3cm
 南側水路通常水位3cm

縮 尺 1/400

※R3.3.1現地でロータリーハウス増本社長・誠良興業様・
 NTT担当氏本様と協議済み
 ※R3.6.10 ロータリーハウス増本社長と協議し最終決定